



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R5 CS通信No.6 R5.7.7



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

R5 年度第 1 回 CS タウンミーティング テーマ「地域と学校の関わりを深いもの にするにはどうしたらよいか」



7月1日(土)山村開発センターにおいて、第1回CSタウンミーティングが開催されました。

今回のタウンミーティングのテーマは、

「地域と学校の関わりを深いものにするにはどうしたらよいか」

でした。そして、副題として、

A「学校と地域がいっしょにやれることはどんなことか」

B「地域の力をどう子供たちの教育に生かすのか」

C「学校が地域に貢献できることは何か」

を設定し、A-1、A-2、B-1、B-2、Cの5つのグループに分かれて話し合いました。

各グループで話題となった内容を紹介します。

A-1 と A-2 グループ「学校と地域が いっしょにやれることはどんなことか」



学校と地域がいっしょにやれることとして

- ・廃品回収を行う。
- ・古紙回収を行う。
- ・ボランティアを行う。

等があげられました。

学校と地域がいっしょにやるとどんないいことがあるかについては、

- ・廃品回収で大人の意識も変わる。
- ・小中高流し踊りでは、町の人に見られることで参加して良かったという気持ちや感謝の気持ちが生まれる。
- ・ふるさと学習で地域の人にも元気をもらっている。という意見が出ました。

地域と学校がもっと理解し、協力し合うために、

- ・広報等を使って町全体へ周知する。
- ・声をかけてもらうことで協力し合える。
- ・鯨ヶ沢テキストをもっと活用する。

等のアイデアが出ました。

B-1 と B-2 グループ「地域の力をどう 子供たちの教育に生かすのか」



学校支援ボランティアはどんな活動をしているかについては、

- ・田植え、町探検支援など学校からの要請で登録者に依頼している。
- ・朝の登校時間「おはよう」と挨拶運動をしている。
- ・日曜日に6年生親子レク、和菓子づくりがあり、和菓子づくりの講師を引き受けた。
- ・下校見守りでは、できる限り「さよなら」「気を

付けてね」と声をかけている。覚えてくれて声をかけてくれるので元気づけられる。

- ・横断歩道が薄くなっていて危ないので、関係機関にも連絡した。
- ・工事中の作業員にも声をかけて安全確保をお願いした。

という情報がありました。

地域の力を利用すればどんないいことがあるかについては、

- ・クラブ活動は、地域の方が得意とする分野で先生が指導するよりレベルが高い。子どもたちが楽しく活動している。内容が充実している。
 - ・1年生のはまなす公園校外学習は、たくさんの目があって、目が届くのですごく助かる。
 - ・あいさつは、以前は良くなかったが、少しずつ良くなっている。地域の方が声をかけているおかげである。
 - ・学校を出た後、子どもは、大人の目がないと何をするかわからない。見守り活動で、大人の目があるという意識だけで安全確保につながる。
 - ・収穫体験によってアスパラ農家の方は、元気づけられると喜んでいて。今後も続けてほしい。
 - ・学校ボランティアの方は、子どもの水分補給や話を聞く態度までフォローしてくれる。
- という話になりました。

さらに地域の教育力を生かすために、どんな工夫があればよいかについては、

- ・難しいことをするわけではない。誰でも参加してほしいと発信してどんどん仲間が増えていけば良い。
 - ・ボランティア活動を通して知ることがあり、しかも楽しいのだということを広げてほしい。
 - ・学校だよりを地域の代表者にも配ってほしい。
 - ・郵便局等に学校だよりを置いてもらえばどうか。
- というアイデアが出ました。

Cグループ

「学校が地域に貢献できることは何か」



Cグループでは、地域のためになる教育活動について話し合いました。その中で、

- ・中学生にもボランティアをやらせたいが、授業時間が減るので、実施は難しい。「学校」の授業としてではなく、「中学生」としてやれることを考えたい。
 - ・廃品回収は、子どももPTAもやりやすい。
 - ・泥上げや草刈りに中学生が参加できないか。参加すればみんなが喜ぶのではないか。
 - ・中学生が、参加しやすいように配慮することが大切である。
 - ・地域貢献できる人材を育てることが大切である。
 - ・ボランティアポイント制の導入を考えてはどうか。(参加する意欲が増す。)
 - ・働いてお金をもらう体験も貴重である。
 - ・一緒に参加する友だちがいれば参加しやすいのではないか。
- と、いうアイデアが出ました。



今回のタウンミーティングは、29名の参加者のうち、教職員の参加が10名ありました。

5グループの編成となりましたので、1グループに2名の教職員が入りました。

教職員と地域の方々話し合う機会はそんなに多くはないので、学校の課題が共有できたことは大きな収穫となりました。

地域の方々は、今、学校が抱えている課題に真剣に聞き入っていました。そんな中で、何かお手伝いができるのではないかと発言がたくさん出たことは、今後の学校と地域の関わりを深めるためのカギになると思われます。

今回のタウンミーティングで話し合われたアイデアや取り組みの工夫等は、地域と学校との関わりを考える上で貴重な意見です。

学校運営協議会としては、この数々の貴重なご意見を精査して、地域と学校との関わりについてこれからも取り組んでいきたいと思えます。皆様、ご協力ありがとうございました。